



令和 5年9月11日
九州地方整備局
鹿児島県

DX を用いた新しい災害査定を試行します (鹿児島県奄美大島・北薩地区)

九州地方整備局では、DX を用いた災害対応力の向上や社会の働き方の改革に取り組んでいます。

自然災害により、地方自治体が管理する施設が被災した場合には、災害復旧事業による災害査定を行う必要があります。

しかし、近年の災害の激甚化・頻発化や少子高齢化等により、災害査定に伴う申請資料の作成は、地方自治体にとって大きな負担となっています。

このため、現地状況の把握や資料作成の迅速化・効率化を図り、被災地の一日も早い復旧に繋げることを目的に、災害査定のリジタル化の推進に取り組んでいます。

今回、九州初となる災害査定のリジタル化として、鹿児島県第5・6次査定（9月4日～15日）において試行しますので、お知らせします。

1. 災害査定のリジタル化説明会

日時：9月14日（木）17：30から18：00

場所：鹿児島県 北薩地域振興局 別館3階 第5会議室

内容：災害査定のリジタル化の取り組みについて説明

リジタル査定デモンストレーション、参加者の感想等

[参考-1]

説明会終了後、取材対応は可能です

※査定期間 令和5年9月4日（月）～9月15日（金）

【問い合わせ先】

九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 田畑 浩規

TEL（代表）：092-471-6331 e-mail：tabata-h8910@mlit.go.jp

鹿児島県 土木部河川課 技術補佐 大山 寿郎、災害係長 颯川 一夫

TEL 099-286-3584

九州地方整備局 防災官室、インフラDX推進室

鹿児島県 土木部 河川課 道路維持課

鹿児島県における災害査定のデジタル化説明会

日時：令和5年9月14日（木） 17:30～18:00

場所：鹿児島県 北薩地域振興局 別館3階 第5会議室

1. 災害査定のデジタル化

- ・災害査定のデジタル化の取り組みについて
- ・デジタル査定デモンストレーション

活用技術の内容

災害用バーチャルツアー（360°映像）、点群クラウドを使用

使用する点群データは、ドローンによるSfM測量、地上レーザーにて取得

※SfM（Structure From Motion）

連続撮影した写真から三角測量の原理で点群を取得するもの

2. 参加者の感想等

